

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



愛知県大会弓道の部団体戦の結果

弓道部男子団体戦：7月29日(水) 蒲郡市体育センター 午前中

23チームが各地区の予選を突破して県大会に出場しました。

県大会では、1立目と2立目の合計12本の中以上が決勝に進出できます。

額田中学校 1立目3本+2立目4本=7本・・・決勝進出ならず

23チームのうち12本の中したのは、10チームでした。

最終的に

優勝	藤岡南中学校	1立目9本+2立目7本+決勝	9本=25本
2位	石巻中学校	1立目6本+2立目7本+決勝	10本=23本
3位	幸田中学校	1立目7本+2立目9本+決勝	7本=23本
4位	一宮中学校	1立目7本+2立目6本+決勝	9本=22本
5位	幸田北部中学校	1立目7本+2立目9本+決勝	6本=22本

1立目と2立目の合計は、藤岡南中学校、幸田中学校、幸田北部中学校の3校が16本の中で、高いレベルでの県大会となりました。決勝で藤岡南中学校が9本の中して計25本の中で優勝しました。

23本の中での石巻中学校と幸田中学校は、2位決定戦で石巻中学校が2位となりました。同じく22本の中の一宮中学校と幸田北部中学校は、4位決定戦で一宮中学校が4位となりました。

愛知県大会弓道の部個人戦の結果

弓道の部男子個人戦：7月29日(水) 蒲郡市体育センター 午後

54人が各地区の予選を突破して県大会個人戦に出場しました。

県大会では、1立目と2立目の合計8本のうちの的中数で順位を決定します。

個人戦 Mくん 1立目2本+2立目1本=3本

個人戦 Kくん 1立目3本+2立目3本=6本

1立目と2立目の合計が8本のうち7本の中が2名、6本の中が3名でした。この段階で、Kくんは5位以内が確定したことになります。

個人戦優勝決定戦は、「射詰」で行いました。サッカーのPK戦のような形式で優勝を決めました。

暁中生徒 ○ × ○ × × 2

幸田北部中生徒 ○ × ○ × ○ 3・・・幸田北部中生徒が優勝

※幸田北部中生徒は、明治神宮での全国大会出場権獲得

個人戦3位決定戦は、「遠近法」で行いました。1つの的に3人が射って中心に近い選手から順位を決めました。

刈谷南中生徒・・・的を外す・・・5位決定

藤波中生徒・・・的を外す・・・4位決定(中心に近い)

額田中(Kくん)・・・的中・・・3位決定

※Mくんは、「遠近法」で1本の矢を放って、3位を獲得しました。



県大会の選手、応援の仲間と記念撮影。Kくんの個人戦3位をみんなで喜び合いました。3年生は、「やりきった」という満足感、笑顔が素敵でした。仲間を大切にしましょう。

愛知県大会弓道の部個人戦 3位 Kくん(額田中学校)

弓道部の外部指導者の喜多信夫先生が、県大会の応援に来てくださいました。「Kくんは、堂々とした射形で立派でした。これからは楽しみです。」と褒めていただきました。弓道部も新チームになります。



幸田町弓道場の「射に己心(てきざいきしん)」という文字が、弓道の大会になると思い出されます。「射に己の心に在り」という意味です。平常心の大切を感じます。

令和元年度第33回中学生の主張コンクール 8月8日(木)9:20~12:20 Nさん「受け継がれてきたもの」優秀賞 (21名発表のうち4名受賞)

8月8日(木)に第33回岡崎市中学生の主張コンクールが、岡崎市総合学習センターで行われました。岡崎市内21校の代表の中学生が、自分の体験や人とのかかわりを通して、人に伝えたい思いを主張しました。PTA実行委員の方にもこの日にご参加いただきました。21校の11番目に額田中学校の代表としてNさんが、『受け継がれてきたもの』をテーマに地域のお祭りでの人とのつながり、これから自分のやるべきことについて堂々と発表しました。

他校の代表生徒は、「資源回収に潜む矛盾」、「ランドセルに想いを乗せて」、「書道で表す自分らしさ」、「あの子の笑顔で」「なくしちゃいかん」などのテーマで、自分の思いを堂々と主張しました。額田中学校の各クラス一人ずつの計6名が、コンクールを聴衆し、これからの生き方を学んだと思います。



審査委員長から、主張作文で大切なこととして次のことを学びました。

- ・自分と自分のまわりを見て、問題点を見付けて、相手に共感してもらえるように主張することが大切である。
- ・事実と行動をつなぎ、説得力のある主張になるようにすることが大切である。

第47回生徒市議会 8月8日(木)13:20~15:30 於 市議会議場

8月8日(木)の午前、総合学習センターで中学生の主張コンクールの発表を聞いてから、私は市役所西庁舎3階の市議会議場で行われる生徒市議会に出席しました。

各中学校の生徒会役員3名、市内20校の計60名が、市議会議場で内田康宏市長、太田俊昭市議会議長、市幹部の方々に、中学生ならではの視点で、岡崎市の未来に対する政策を提案しました。提案分野は、「岡崎アピール」、「環境・防災」、「国際化」、「健康・福祉」、「未来の岡崎」の5つでした。額田中学校では、Iくん、Tさん、Nくんの3名が出席し、20の提案のうち8番目に『**近隣自治体と『広域防災協定』**』を提案しました。「ここ数年、全国各地で災害が起こり、私たちの住む額田地区では、豪雨時の土砂崩れが心配されます。額田地区は、学区面積が広く避難所が少ないので避難する方が危険だ、と感じている住民もいます。そこで、隣接する他市と「広域防災協定」を結び、災害時にお互いの避難所を共有できる体制作りを提案します。額田地区では、指定された避難所よりも隣接する自治体の避難所が近い地区があるので、避難所の共有によって、いざという時の安心感を得られます。」

岡崎市市民生活部から「額田地区の実態に応じて避難方法を考えていくことの大切さを確認しました。自分の命は自分で守る。釜石の軌跡を参考に、中学生が地域住民と一体となって防災対策を真剣に考えていく重要性を感じます。現在、岡崎市としても他市と連携して防災対策をしています。今後、もっと具体的に他市との連携を考えていきたい」という答弁がありました。

第61回岡崎市中小学生イングリッシュ・フェスティバル 8月9日(金)12:40~16:00



8月9日(金)の午前に小学生の部、午後に中学生の部のイングリッシュフェスティバルが実施されました。スキット一般の部に18組が出場し、HさんとSくんの組が7番目に出場して、「Our Daily Life」をテーマに堂々と発表しました。次に、スピーチ一般の部に19人が出場し、Nくんが8番目に「To Be a Team」をテーマで訴えかけるスピーチをしました。

額田中学校の代表として出場したHさん、Sくん、Nくんの3名は、練習の成果を出し切り、聴衆を感動させるスピーチができました。額中の文化祭で披露してもらいます。